

雪印種苗育成

春だいこんラインアップのご紹介

雪印種苗(株) 千葉研究農場

作物研究室 松井 誠 二

1 はじめに

だいこんは日本を代表する野菜であり、年間を通して全国各地で播種、栽培されています。品種は夏秋・秋冬だいこん、春だいこん、夏だいこんに大別されますが、品種は多種多様となっています。

また、近年の異常気象により品種が予想以上のダメージを受けたり、栽培方法を理解していなかったために、特性を発揮できなかったりするケースが多く、品種の選定と品種特性を理解した栽培の実践が非常に重要になります。

当社からも多くの品種を販売していますが、今回は、春だいこんの品種紹介と栽培上の注意点を説明致します。

2 『春風太』

本品種は暖地、一般地の越冬春どりに適した品種で、トンネル、露地栽培に向きます。

特性

極晩抽性の長形青首総太り。

吸いこみ性で耐寒性が強い。

小葉で密植適応性がある。

根長38~40cm、根重1,300g、根径7cm

栽培の注意点

厳寒期の栽培なので肥沃な圃場を選定し、深耕、高畝マルチを行い、作土を十分確保して下さい。低温乾燥期の栽培なので、横縞症の発生に注意が必要で、緑肥(ハイオーツ)を栽培して、保水性のある土作りを行って下さい。播種時に乾燥している場合は散水を行って下さい。

耐寒性、極晩抽性を有する品種ですが、寒さが



春風太

地域	作型	月	10	11	12	1	2	3	4
一般地	ハウス		●	●				■	
	トンネルべたがけ				●	●			■
暖地	ハウス		●	●				■	
	トンネルべたがけ		●	●				■	
暖地沿岸部	露地べたがけ	●						■	

●●●● : 播種期 — : 生育期 ■ : 収穫期

図1 春風太の栽培時期

厳しい年では、古ビニールや開放換気では寒害を受けることがありますので、様子を見て保温に心掛けて下さい。

3 『寒関』

本品種は春風太の後の作型に適する品種で暖地、一般地のトンネル栽培で特性を発揮します。

特性

極晩抽性の青首総太り。

空洞症が出にくく、そろいが良い。

やや大葉で根の太りが早い。

根長36~38cm、根重1,300g、根径7~7.5cm



寒関

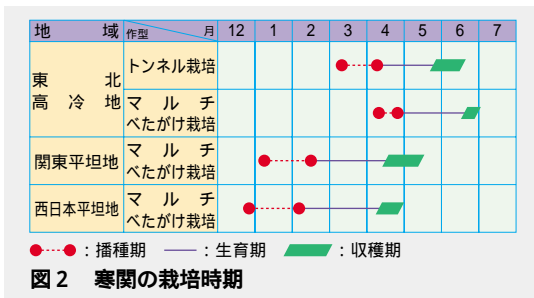


図2 寒関の栽培時期

栽培の注意点

年内などの早播きは短根になりやすいので、べたがけなどをして地温を上げて下さい。また、厳寒期に発芽する作型なので、十分に保温して発芽をスムーズに行わせて下さい。

初期生育はややおとなしいほうですが、生育後半に葉が強くなりやすいので、施肥は控えめとし、生育中後期以降は葉勝ちにならないようにトンネルの換気を十分に行って下さい。

太りが早いので春風太と収穫が重なる恐れがあります。播種期の間隔を十分に空けて計画的に播種して下さい。

4 『喜太一』

本品種は春風太、寒関の後の作型に播種する品種で、播種期幅が広いのが特徴で、暖地、一般地のトンネル、東北・北海道の春播きまで栽培できます。

特性

極晩抽性で根形がきれいな総太り。
ひげ根が極細く、洗い上がりが非常に美しい。
萎黄病やウイルスに強く栽培しやすい。



喜太一

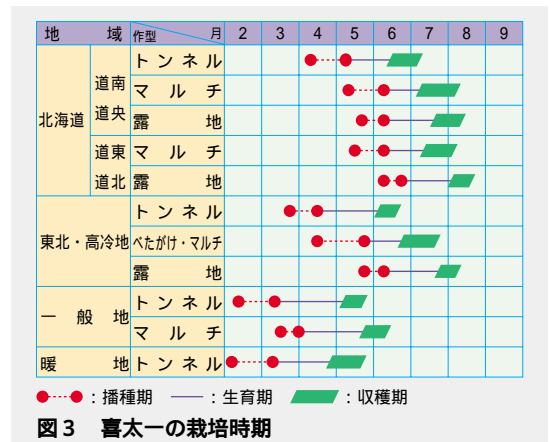


図3 喜太一の栽培時期

根長36～38cm、根重1,200g、根径7cm
生食利用だけでなく、加工利用にも優れています。

栽培の注意点

トンネルの早播きや古ビニールの栽培は、短根や抽苔の原因になるため注意が必要で、保温方法に留意し、べたがけなども有効利用して下さい。

マルチ栽培では寒の戻りで抽苔することがあるため、播種時期、播種作業に注意が必要で、べたがけなどを有効利用して下さい。

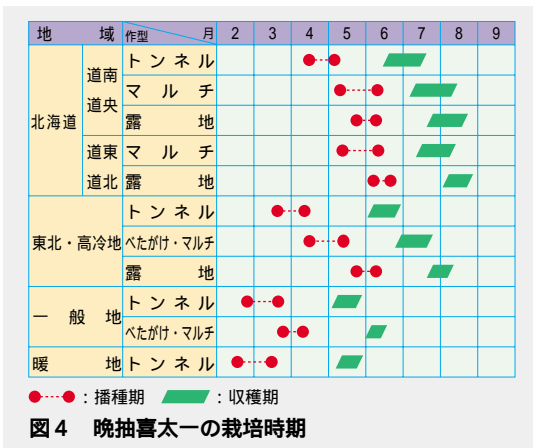
高温期に向かう作型では年によって生理障害が発生する圃場があるので、圃場選定(乾燥害、湿害)施肥量、微量要素などの対応が必要です。

5 『晩抽喜太一』

本品種は喜太一の優れた特性を兼ね備えながら、より晩抽性に改良した新品種で、特に異常気



晩抽喜太一



象になりやすい高冷地でその特性を發揮します。

特性

極晩抽性の青首総太りで、抽苔が遅いので喜太一より安心して栽培できます。

根の形状・そろいが非常に良く、ひげ根が細く肌がきれいです。

萎黄病やウイルスに強く栽培しやすい。

根長35～38cm，根重1.200g，根径7cm

生食利用だけでなく加工利用にも優れています。

栽培の注意点

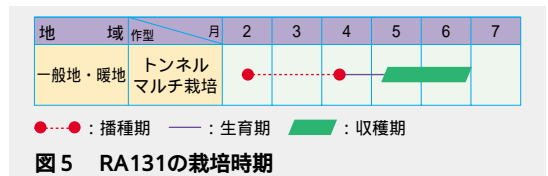
トンネルの早播きや古ビニールの栽培は短根の原因になるため注意が必要で、保温方法に留意し、べたがけなども有効利用して下さい。

マルチ栽培の早播きは地温が上がったのを確認してから播種作業を行い、べたがけを有効利用し、初期生育、根長を確保して下さい。

高温期に向かう作型では、年によって生理障害



RA131



が発生する圃場があるので、圃場選定(乾燥害、湿害)施肥量、微量元素などの対応が必要です。

6 『ツマ用RA131』

本品種は加工利用に適した品種で、特にツマ用途に向く極晩抽性の品種です。

特性

首色は白首に近い淡緑色で内部の着色がない。肉色は純白で、す入りが極めて遅く、肉質が硬い。

極晩抽性でトンネル栽培で特性を發揮する。根長40～45cm，根重1.5～3.0kgのボリュームある根形に良くそろう。

栽培の注意点

低温、多肥、乾燥条件で空洞症が発生することがあるので、十分に保温した管理が必要です。水分条件に注意して播種し、肥料も必ず控えめにして下さい。

マルチ栽培はべたがけを有効利用し、保温に留意し、初期生育を進めて下さい。

7 むすび

春だいこんのラインアップの紹介をしました。各品種の適作型と栽培の注意点を良く理解して頂き、良品生産されますようお願い致します。